

剣友会小学生が8連覇達成

4月29日(日)、第34回ライオンズ旗争奪少年剣道大会(花鶴福岡ライオンズクラブ主催)がクロスパルこが(古賀市)で行われ、糟屋・宗像地区の小・中学生80チームが参加しました。

この大会に須恵剣友会が出場し、小学生団体では平成17年から8連覇、中学生団体では2連覇を果たしました。また、小学生個人戦では黒川雄大くん(第一小6年)、中学生個人戦では黒川大樹くん(須恵中3年)が優勝。この大会の全部門を制覇しました。

小学生団体・個人の両部門で優勝した黒川雄大くんは「優勝できてとてもうれしいです。次の大会も優勝できるように稽古をがんばります。」と決意を新たにしていました。



全部門を制覇した須恵剣友会

エコ+軽トラ市= 第5回のっころしよ

5月13日(日)、須恵軽トラ市「のっころしよ」がカルチャーセンター前駐車場で行われ、多くの人を訪れました。

今回のテーマは「エコ」。野菜や飲食物、雑貨などの店舗が立ち並ぶ中、電気自動車などの展示、ゴーヤの種の配布も行われました。ゴーヤは、ツルと葉で窓を覆うエコな「緑のカーテン」で、節電対策として利用されています。配布場所には長蛇の列ができ、瞬く間に在庫がなくなりました。



涼しくもなり、収穫も楽しみ

須恵リトルベアーズ 21年ぶりの栄光!!

5月3日(木)、第22回スポニチ旗争奪玄海少年野球大会(スポーツニッポン新聞社主催)の準決勝・決勝が福津市で行われました。この大会に岩崎勝監督率いる須恵リトルベアーズをはじめ、県内、佐賀県、長崎県から48チームが参加。須恵リトルベアーズが第1回大会以来、21年ぶり2度目の優勝を果たしました。

主将の村上拓巳君は、「多くの人の応援に支えられ優勝できました。8月の福岡県大会優勝を目指し、感謝の気持ちを忘れずにチーム一丸となってがんばります。」と次を見据えていました。



チーム一丸となりつんだ優勝

健やかな子どもの成長を祈願

4月23日(月)、24日(火)の両日、守母神社大祭が行われました。新たに奉納された石像の開眼式、地元・甲植木区の女性たちによる接待などが行われました。訪れた人たちは、子どもたちの健やかな成長を祈願していました。

「守母神社の伝説」は、町の無形民俗文化財に指定されている悲話です。16世紀半ば、高鳥居城落城の際、乳母の慈照天眼禅尼が杉弾正の子を連れて落ちのびる途中、岩陰に潜んでいたところ、子の泣き声で見つかり捉えられてしまいます。首をはねられる際、「自分が殺されても世の中の泣く子の味方となり守り続ける。」と誓ったと伝えられ、乳母の霊を守母様として祀り、夜泣き止めや育児の神社として信仰を集めています。



子どもたちの健やかな成長を祈願

恒例、つつじまつり開催

4月29日(日)、商工つつじまつり IN SUE(須恵町商工会主催)が皿山公園イベント広場で開催されました。この日は好天に恵まれ、つつじが咲き誇る中、多くの人を訪れました。

ステージでは、和太鼓演奏やマジックショー、大抽選会などが行われました。訪れた人は、景色やイベントで心が和み、イベント広場内の出店の飲食物で舌鼓を打ち、心もお腹も満たされていました。

また、今回は宇美町山開きイベントとコラボレーション。宇美町から約120人の参加者が、イベント広場まで約2時間かけて訪れ、須恵町との友好の証である風船を飛ばしました。



力強い演奏で魅了



餅まきにも人だかり



息があったパフォーマンス